

## 2018年度日本計量生物学会年会・チュートリアルのご案内

大森崇, 菅波秀規, 田栗正隆, 船渡川伊久子 (企画担当理事)

2018年度日本計量生物学会年会を2018年3月29日(木)午後および3月30日(金)に統計数理研究所にて開催します。また、3月29日(木)午前に同一会場にてチュートリアルを実施します(応用統計学会と共催)。年会の一般講演を募集しますので奮ってご参加下さい。本年度も、一般講演として口頭発表とポスター発表を募集いたします。一般講演申込の詳細は下記の年会案内をご参照下さい。

本年会は応用統計学会の後援で実施され、両学会員は本年会、3月29日(木)のチュートリアル、および3月28日(水)開催の応用統計学会年会に、会員価格で参加できます。また、一般講演セッションで発表される学生会員の方には、旅費の補助をいたします。学生会員の方の積極的な発表をお待ちいたします。参加費の詳細は以下をご参照ください。本年会およびチュートリアルの参加につきましては、原則として事前に参加申し込みをしていただきますよう、ご協力のほどお願いいたします。参加および講演申し込みの詳細は、HP <http://www.biometrics.gr.jp/>をご参照ください。

### 年会・チュートリアルの会場および参加要領

#### 会場

統計数理研究所 <http://www.ism.ac.jp/>

〒190-8562 東京都立川市緑町10-3 電話: 050-5533-8500 (代)

#### 参加費

事前申込: [申し込み期間] 2018年1月30日(火)~2月28日(水)

本学会員 年会 2,500円, チュートリアル 2,500円

応用統計学会員 年会 2,500円, チュートリアル 2,500円

非会員 年会 4,500円, チュートリアル 4,500円

学生(会員, 非会員とも) 年会 1,000円, チュートリアル 1,000円

# 年会・チュートリアルは一括申込をお願いします

#### 当日申込:

本学会員 年会 3,000円, チュートリアル 3,000円

応用統計学会員 年会 3,000円, チュートリアル 3,000円

非会員 年会 5,000円, チュートリアル 5,000円

学生(会員, 非会員とも) 年会 1,000円, チュートリアル 1,000円

### チュートリアル

**日時**: 2018年3月29日(木) 9:30~12:30 (予定)

**テーマ**: 適応的デザインとその応用

**オーガナイザー**: 星野崇宏 (慶應義塾大学) ・ 田栗正隆 (横浜市立大学)

**内容**: 近年では医学や工学、心理学といった伝統的にランダム化比較試験(RCT)が行われる分野だけでなく、政治学や経済学など幅広い研究分野において、さらには社会のあらゆるところで無作為化実験が実施されている。Webサービスやネットショップなどのマーケティングやアドテクと言われる分野では、A/Bテストという名称でRCTが実施されている。さらに顧客のページ閲覧や購買頻度に応じて条件提

示の頻度を変える目的変数適応的デザインや、同一顧客の過去の反応に即して対応を変える様々な実験が行われるようになってきている。医学でもこれまでの RCT に加えて小標本での共変量の分布の偏りに注目した共変量適応的デザインやベイズ流のアプローチなども実施されるようになってきた。

これらの方向性はより効率的な研究デザインの実施という考え方に加えて効果の異質性の理解や顧客・患者ごとの最適な施策・治療の選択という「因果効果の異質性の理解」にかかわる方法論的な要素や統計学・工学における逐次的意思決定の数理など理論においても応用・実践においても非常に重要な要素を含むものである。今回のチュートリアルでは応用統計学会・日本計量生物学会の会員にとっても関連分野の非会員にとっても重要な話題である適応的デザインについて、数理的な研究と医学・マーケティング等への応用の両面にわたって紹介を行う。

講師・内容（予定）：

星野崇宏（慶應義塾大学）・田栗正隆（横浜市立大学）

「適応的デザインと因果効果推定－異質性の理解と個への対応－（仮）」

本多淳也（東京大学）

「バンディットアルゴリズム（目的変数適応的デザイン）の数理（仮）」

平川晃弘（東京大学）：

「Precision Medicine を目指した適応的デザイン－バスケットデザインの理論と実践－」

## 2018年度日本計量生物学会年会

日時：2018年3月29日（木）午後～30日（金）

特別セッション：3月30日（金）午後（予定）

セッション名：「統計コンサルテーション」

オーガナイザー：大庭幸治（東京大学）

趣旨：統計コンサルテーションは、統計家に求められる役割の中でも、最もチャレンジングで、やりがいのある業務の一つです。良いコンサルテーションのためには、統計に関する技術的な知識はもちろんのこと、良い対人能力、さらには良いビジネスセンスが必要であるともいわれます。海外の状況を見渡すと、例えば、アメリカ統計学会では statistical consulting section を作って活動が行われるなど、系統的に統計コンサルテーションへの取り組みが行われているようです。一方で、日本では、企業・アカデミア問わず、実際には多くの統計コンサルテーションが行われているものの、それぞれが独自で取り組んでいるのが現状であり、情報の共有もなされていないように感じます。今年から、試験統計家認定制度が開始されることもあり、世間のニーズも強まるのではないかと考えています。今回はアカデミアでの議論が中心となりますが、統計コンサルテーションとはどのようなものか、実際にどのような相談があり、どのように対応しているか、統計コンサルテーションを通してどのように質の高い研究の実施につなげていくかについて会員の皆様と議論したいと考えています。

演者・演題（予定）

座長：手良向聡（京都府立医科大学）、大庭幸治（東京大学）

(1) 大庭幸治（東京大学）

「企画意図」

(2) 三嶋秀行、室谷健太（愛知医科大学）

「大学病院における統計コンサルテーションの実際」

(3) 田中紀子（国立国際医療研究センター）

「日本における統計コンサルテーションの実態調査」

(4) 飯島弘章、大野浩太、伊藤陽一（北海道大学）

「北海道大学における組織的な取り組みの紹介」

(5) 総合討論

## 一般講演の申し込み

### 一般講演の申し込み

以下の分野毎に演題を募集します。

- A. 臨床試験・臨床研究, B. 臨床診断学, C. 疫学, D. ゲノム・バイオインフォマティクス,  
E. 資源・環境・農業, F. 事例研究, G. その他

応募の際には、ご希望される分野名を必ずご指定下さい。分野毎の演題募集には、学会の独自性・特色をより打ち出し、専門性を深めるといふねらいがあります。分野毎に、より踏み込んだ活発な議論を期待しております。会員の皆様の積極的なご発表をお願いいたします。

口頭での発表を希望するかポスターでの発表を希望するかを、申し込み時にお申し出ください。希望を最大限尊重いたしますが、プログラム編成の都合上、発表形式の変更をお願いする場合がございますことをご了承ください。

一般講演をされる学生会員の方に、50,000円を上限として旅費の援助をいたします。以下の(5)をご参照ください。

### (1) 申し込み方法

2018年度日本計量生物学会年会 HP よりお申込みください。HP は開設次第、学会 HP <http://www.biometrics.gr.jp/> およびメーリングリストにてご案内申し上げます。

(2) 発表申し込み受付開始 2017年12月28日(木) (予定)

(3) 発表申し込み締め切り 2018年1月31日(水)

(4) 予稿原稿締切 2018年2月9日(金)

ご講演を申し込まれた方には予稿原稿執筆要領をお送りします。

### (5) 学生会員に対する旅費の補助について

若い皆さんに積極的に研究発表の機会をもつていただくべく、本年会において演題発表を行う「学生会員」のみなさんに旅費の補助を行うことにしました。たくさんの学生会員のみなさんの発表をお待ちしています。

○対象者：本人が講演者となって一般講演セッションで演題発表を行う学生会員（口演，ポスターを問いません）

○補助額：一人あたり 50,000円を上限として旅費を補助

○申込方法：補助を希望する対象者は年会の講演申込の際にあわせて「旅費等補助希望」と連絡してください。参加申込み・参加費支払いを各自で行っていただき、学会終了後、補助金額を本人に学会からお支払します。ただし、申込多数の場合にはご希望にそえない場合があります。補助が決定した方には別途事務局より手続き方法について連絡します。

なお、今回の補助は講演申込にあわせて日本計量生物学会に入会申込した学生の方にも適用されます。学生会員の年会費は無料となりますので、周囲で日本計量生物学会に入会していない学生の方にもこの機会に是非入会と発表を勧めてください。

## その他

- ・年会期間中に日本計量生物学会総会、学会賞授与式、評議員会ならびに企画委員会を開催します。
- ・3月28日(水)には応用統計学会年会が本年会と同会場にて開催されます。参加費は正会員、後援学生会員 3,000円、非会員 5,000円、学生(会員、非会員とも) 1,000円です。

## 会場周辺案内図

統計数理研究所 <http://www.ism.ac.jp/>  
〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3 電話：050-5533-8500 (代)

成田空港または羽田空港よりリムジンバスで立川地区下車  
JR 中央線立川駅下車



- 立川北駅から多摩モノレールで高松駅下車 徒歩約7分
- 立川駅北口バス乗り場2番から、立川バスで裁判所前下車 徒歩約3分
- 立川駅より徒歩約25分